



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 株式会社 丸山製作所
 コード番号 6316 URL <http://www.maruyama.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 尾頭 正伸
 (氏名) 佐藤 達也

TEL 03-3252-2271

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年9月期第1四半期 | 4,817 | 7.5 | △254 | — | △311 | — | △357 | — |
| 23年9月期第1四半期 | 4,481 | 5.9 | △387 | — | △473 | — | △400 | — |

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 △417百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 △346百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年9月期第1四半期 | △7.21 | — |
| 23年9月期第1四半期 | △8.03 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年9月期第1四半期 | 29,379 | 11,293 | 38.4 | 228.61 |
| 23年9月期 | 31,312 | 11,868 | 37.9 | 238.50 |

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 11,293百万円 23年9月期 11,868百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年9月期 | — | — | — | 2.00 | 2.00 |
| 24年9月期 | — | — | — | — | — |
| 24年9月期(予想) | — | — | — | 2.00 | 2.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 13,000 | 0.9 | 100 | △70.5 | △100 | — | △100 | — | △2.01 |
| 通期 | 30,700 | △0.2 | 1,250 | △19.0 | 850 | △29.1 | 500 | △7.7 | 10.05 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年9月期1Q | 50,293,328 株 | 23年9月期 | 50,293,328 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年9月期1Q | 892,055 株 | 23年9月期 | 532,055 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年9月期1Q | 49,581,273 株 | 23年9月期1Q | 49,857,625 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| (6) 重要な後発事象 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により損壊したサプライチェーンの立て直しが進み、生産には緩やかな回復がみられました。しかしながら、米国の景気減速や欧州の金融不安による景気の下振れリスクの高まりなどにより、米ドル・ユーロに対し円高の状況が続いており、雇用情勢も失業率が依然として高水準にあるなど、引き続き厳しい状況で推移してまいりました。

このような状況のもと、当社グループは、新製品を中心に積極的な営業活動を展開するとともに、新たな海外販路の拡大を進めてまいりました。

これらの結果、国内では、東日本大震災の復興需要などもあり国内売上高は4,006百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。一方海外では、円高の影響が大きく、北米、欧州向けが減少したことなどにより海外売上高は810百万円（前年同四半期比23.3%減）となり、当第1四半期の連結売上高は4,817百万円（前年同四半期比7.5%増）となりました。

利益面では、売上高の増加に伴う物流費の増加はありましたが、当社グループ全体で引き続き固定費削減に努めた結果、営業損失は254百万円（前年同四半期は387百万円の損失）、経常損失は311百万円（前年同四半期は473百万円の損失）、法人税率引下げに伴う繰延税金資産の取崩しにより、法人税等が増加したことから四半期純損失は357百万円（前年同四半期は400百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

農林業用機械は、国内では、新製品を中心に積極的な営業活動を展開したことなどにより動力噴霧機、高性能防除機が増加いたしました。一方海外では、防除機、刈払機が減少した結果、国内外の農林業用機械の売上高合計は3,206百万円（前同四半期比6.8%増）となりました。

工業用機械は、国内では、東日本大震災の復興需要などもあり洗浄機が増加しましたが、海外では円高の影響が大きく、北米、欧州向けの工業用ポンプが減少した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は912百万円（前同四半期比7.8%増）となりました。

その他の機械は、消防機械を主なものとしており、売上高は641百万円（前同四半期比11.4%増）となりました。

不動産賃貸他の売上高は57百万円（前同四半期比0.2%増）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は29,379百万円となり、前連結会計年度末より1,932百万円減少いたしました。これは、たな卸資産の増加（1,688百万円）はありましたが、受取手形及び売掛金の減少（2,453百万円）、現金及び預金の減少（461百万円）などによるものであります。

負債総額は18,086百万円となり、前連結会計年度末より1,358百万円減少いたしました。これは、短期借入金の増加（693百万円）はありましたが、支払手形及び買掛金の減少（1,099百万円）、未払法人税等の減少（379百万円）などによるものであります。

純資産の合計は11,293百万円となり、前連結会計年度末より574百万円減少いたしました。これは、四半期純損失を計上したことなどにより利益剰余金が減少（456百万円）したことなどによるものであります。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、今後の事業環境などを見極める必要があるため、前回予想（平成23年11月11日）を修正いたしません。見直しが必要であると判断した時点で速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.69%から、平成24年10月1日に開始する連結会計年度から平成26年10月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については38.01%に、平成27年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.64%となります。この税率変更により、繰延税金資産は131百万円減少し、その他有価証券評価差額金が5百万円、法人税等が125百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,377 | 2,916 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,770 | 7,317 |
| 商品及び製品 | 5,387 | 6,822 |
| 仕掛品 | 282 | 347 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,452 | 1,640 |
| その他 | 1,255 | 805 |
| 貸倒引当金 | △11 | △10 |
| 流動資産合計 | 21,515 | 19,838 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,282 | 3,232 |
| 土地 | 2,583 | 2,583 |
| その他(純額) | 1,067 | 1,075 |
| 有形固定資産合計 | 6,932 | 6,891 |
| 無形固定資産 | 3 | 3 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,510 | 1,348 |
| その他 | 1,378 | 1,324 |
| 貸倒引当金 | △28 | △26 |
| 投資その他の資産合計 | 2,860 | 2,645 |
| 固定資産合計 | 9,797 | 9,541 |
| 資産合計 | 31,312 | 29,379 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,644 | 6,545 |
| 短期借入金 | 5,703 | 6,396 |
| 1年内償還予定の社債 | 120 | 120 |
| 未払法人税等 | 453 | 74 |
| 賞与引当金 | 480 | 215 |
| その他 | 1,275 | 1,237 |
| 流動負債合計 | 15,677 | 14,589 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 120 | 60 |
| 長期借入金 | 1,409 | 1,272 |
| 退職給付引当金 | 1,920 | 1,851 |
| その他 | 316 | 313 |
| 固定負債合計 | 3,766 | 3,497 |
| 負債合計 | 19,444 | 18,086 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,651 | 4,651 |
| 資本剰余金 | 4,525 | 4,525 |
| 利益剰余金 | 2,967 | 2,510 |
| 自己株式 | △93 | △151 |
| 株主資本合計 | 12,049 | 11,534 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △0 | △75 |
| 為替換算調整勘定 | △181 | △165 |
| その他の包括利益累計額合計 | △181 | △241 |
| 純資産合計 | 11,868 | 11,293 |
| 負債純資産合計 | 31,312 | 29,379 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日) |
|--------------------|---|---|
| 売上高 | 4,481 | 4,817 |
| 売上原価 | 3,331 | 3,457 |
| 売上総利益 | 1,149 | 1,360 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,537 | 1,614 |
| 営業損失(△) | △387 | △254 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 2 |
| 受取配当金 | 12 | 18 |
| その他 | 13 | 12 |
| 営業外収益合計 | 28 | 33 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 39 | 31 |
| 退職給付費用 | 40 | 40 |
| その他 | 33 | 18 |
| 営業外費用合計 | 113 | 90 |
| 経常損失(△) | △473 | △311 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 | — |
| 固定資産売却益 | — | 0 |
| 投資有価証券売却益 | — | 51 |
| 特別利益合計 | 0 | 51 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 0 | 0 |
| その他 | — | 0 |
| 特別損失合計 | 0 | 0 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △473 | △260 |
| 法人税等 | △73 | 96 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △400 | △357 |
| 四半期純損失(△) | △400 | △357 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △400 | △357 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 66 | △75 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | — |
| 為替換算調整勘定 | △12 | 15 |
| その他の包括利益合計 | 54 | △60 |
| 四半期包括利益 | △346 | △417 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △346 | △417 |

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|------------|-----------|------------|------------|-------|-------------|-------------------------------|
| | 農林業用 機械 | 工業用 機械 | その他の 機械 | 不動産 賃貸他 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,000 | 846 | 575 | 57 | 4,481 | — | 4,481 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 57 | 57 | △57 | — |
| 計 | 3,000 | 846 | 575 | 115 | 4,538 | △57 | 4,481 |
| セグメント利益又は損失(△) | △184 | 61 | 7 | 61 | △54 | △333 | △387 |

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|------------|-----------|------------|------------|-------|-------------|-------------------------------|
| | 農林業用 機械 | 工業用 機械 | その他の 機械 | 不動産 賃貸他 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,206 | 912 | 641 | 57 | 4,817 | — | 4,817 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 57 | 57 | △57 | — |
| 計 | 3,206 | 912 | 641 | 115 | 4,875 | △57 | 4,817 |
| セグメント利益又は損失(△) | △120 | 92 | △0 | 59 | 31 | △285 | △254 |

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。